

11月1日に計量記念日全国大会 ホテルインターコンチネンタル東京ベイで



計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071
https://www.keiryu-keisoku.co.jp/
振替口座 00140-5-12935
購読料年間 27,500円(消費税込み)

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル

Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-5577
http://www.yamato-scale.co.jp/

経済産業省と計量記念日組織委員会は、2022年度計量記念日全国大会を11月1日(火)、東京都港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで開催する。計量記念日式典は経済産業省が主催、全国の計量関係機関、計量関係団体で構成する計量記念日組織委員会が記念行事とレセプションを主催。計量関係30団体と日本計量振興協会が協賛する。協力は、全国計量関係団体。

特別講演 「人類の起源と変遷」―日 本人はどこから来たのか 東京大学総合研究博物館教授 海部陽介

計量記念日全国大会は、11月1日の計量記念日を祝って全国の計量関係者が一堂に会し、相互の交流を深めると共に最新の技術情報等を共有して、学術、産業の発展向上に資することを目的としている。計量記念日式典では、「経済産業大臣表彰」と「産業技術環境局長表彰」の受賞者を表彰する。記念行事では、小学生から公募していた「何でもはかってみようコンテスト」や、「計量啓発標語」の入賞作・入賞者を発表し、表彰する。「計量啓発標語」の入賞作は、来年の計量啓発パンフレット「計量のひろば」等に使用される。



¥33,000(税抜)

しかし30万〜10万年前頃のアフリカに、私たちホモ・サピエンスが出現すると状況が一変した。ホモ・サピエンスは後期旧石器時代(約5万〜1

万年前)に5つの大陸へと大拡散して、これにより世界各地の現代人の基層ができることにも、原人や旧人がいなくなつた。

この拡散の波が日本列島に及んだのは3万8000年前頃で、ここから列島の人類史がはじまる。しかし、かつての定説とは異なり、この時、祖先たちは海を越えてきたことが明らかになっていく。旧石器人は当時の技術で、どのように海を越えたのか。それはどれだけ困難な挑戦で、彼ら彼女らは、なぜそのような挑戦を決意したのか。こうした謎に迫るため、演者が企画・実行した「3万年前の航海徹底再現プロジェクト」(2016〜2019)にも触れつつ、壮大な人類史について紹介する。

【講師プロフィール】1969年生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程を中退し、国立科学博物館を経て、202

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

3400・3401号
を合併号とし、10月30日
付で発行します。

今週の主な記事

- 計量記念日全国大会 11月1日に開催
- 計量記念日ボスター
- NMIJ計量研修センターが募集
- 全国の計量記念日行事(1)
- とっさの計量
- 社説「計量法を知る 解らないながらも計量法を
ちよつとだけ知ろう」、A&Dのタイ現地法人がIS
O/IEC17025認定を取得 9面
- 特定計量器検則改正 10面
- 2022年度東北・北海道計量大会開く 12022年
10月6日、福島県の当番で 12面

【日時】11月1日(火)、13時30分〜18時30分(受付13時)

【会場】ホテルインターコンチネンタル東京ベイ5階ウィラード(東京都港区海岸1-16-2)
【事務局・問い合わせ先】日本計量振興協会 電話 03-32269-3225

▽特別講演(4階ウィラード、15時20分)「人類の起源と変遷」―日本人はどこから来たのか(東京大学総合研究博物館教授、人類進化学者、理学博士・海部陽介)
▽レセプション(5階ウィラード、17時〜)

▽開会の辞
▽経済産業省式辞
▽来賓祝辞
▽経済産業大臣表彰状授与
▽産業技術環境局長表彰状授与
▽受賞者代表謝辞
▽閉会の辞
▽記念行事(14時30分〜)
▽組織委員長のあいさつ
▽計量啓発標語発表および表彰
▽何でもはかってみようコンテスト発表および表彰



上皿天びん
UniBloc Performance Balances
UPシリーズ

クラス最速の応答性能 はかりとり作業の効率を大幅にアップ

UPシリーズ24モデル:最小読取り0.1g~0.001g

- はかりとり作業性向上
微量計量(最小表示値の10倍相当)の表示反応時間を約1秒に短縮
- 優れた耐久性
耐久性に優れたUni Blocセンサの採用により故障によるダウンタイムを低減
耐久試験1000万回クリア(計量法試験基準の100倍)
- 作業性を高める除電器
イオナイザSTABLO-AP(オプション)で静電気による影響を排除し
信頼性の高い計量を実現
- PLCとの動作実績
国内主要PLCメーカー製品で動作実績があり



株式会社 島津製作所 分析計測事業部

UPシリーズの特徴を、わかりやすくムービーで解説
https://www.an.shimadzu.co.jp/balance/products/p01/up-d.htm

